

令和 6 年度 上田市の日本遺産に関するアンケート結果

2025.3.26

一 アンケート結果概要

1 実施目的

令和 8 年度から 10 年度までの 3 年間を計画対象年度とする「日本遺産を活用した地域活性化計画」における成果目標のひとつとして「地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること」が掲げられ、その具体的な指標として「日本遺産を誇りに思う割合」が指定されている。当該指標の算出根拠として市民アンケートによる調査結果を用いる可能性があること、また、当該計画には令和 8 年度以前の実績値を掲載することを踏まえ、令和 6 年度時点での状況を把握するため、市民が当市の日本遺産を誇りに思うかどうか等を観測することとする。なお、今後も定期的な観測を行うことを予定する。

2 実施方法 「ながの電子申請サービス」によるオンライン回答

3 実施期間 令和 7 年 3 月 5 日（水）正午～3 月 26 日（水）正午

4 周知方法 市メール配信、市公式 X（旧 Twitter）投稿、広報うえだ 3 月号

5 調査結果 回答件数 281 件（うち、市内 274 件、市外 7 件） （メール等受信者約 11,000 人 回答率約 2.5%）

6 結果抜粋

日本遺産の認知度		86%	（※1）
上田市の日本遺産の認知度		77%	（※2）
日本遺産の取り組みに関する満足度		35%	（※3）
上田市の日本遺産に対する好感度		61%	（※4）

※1 「知っている」と回答した者の割合

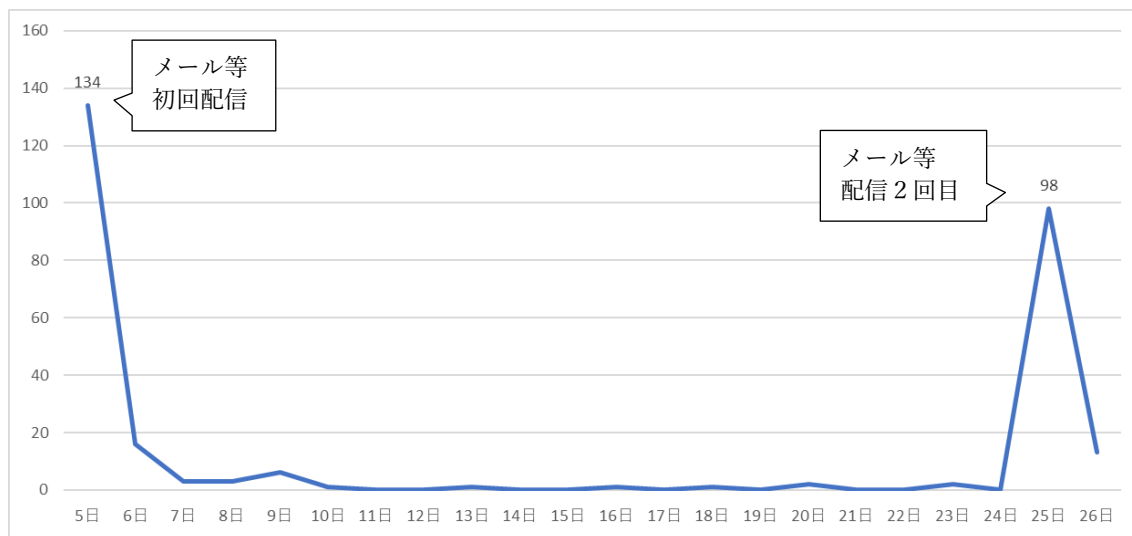
※2 「知っている」と回答した者の割合

※3 「満足」「どちらかという満足」と回答した者の割合

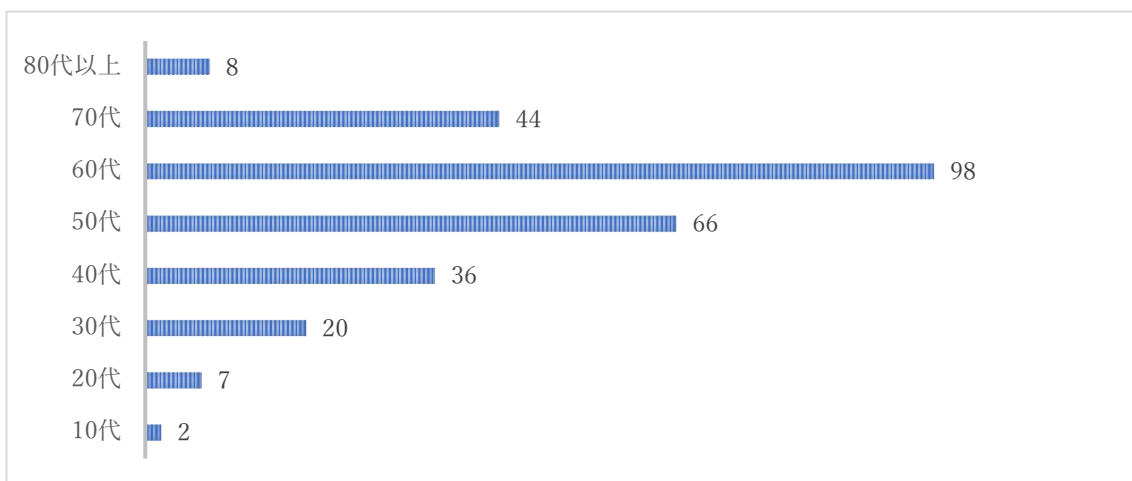
※4 「ある程度好感が持てる」「とても好感が持てる（誇らしく思う）」「とても好感が持てる（誇らしく思う）」とともに、何らかの関与・協力をしたいと思う」と回答した者の割合

二 アンケート結果詳細

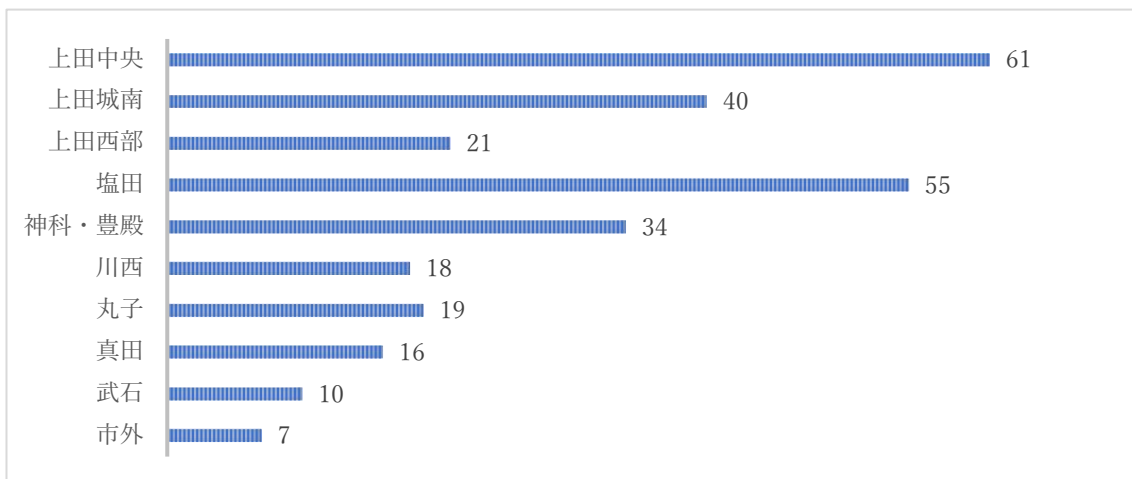
1 日別回答件数



2 年代別回答件数

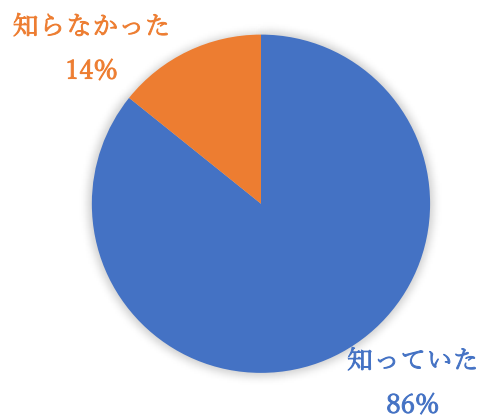


3 住所地別回答件数

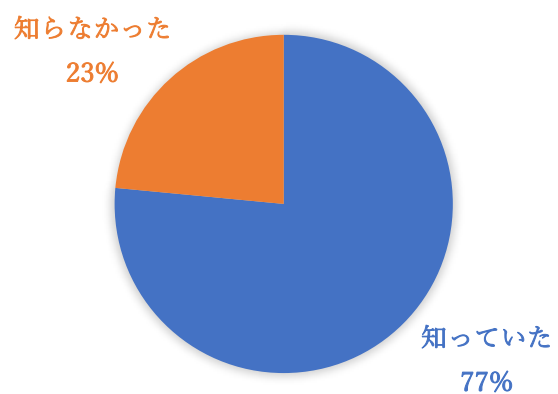


4 日本遺産の認知度及び上田市の日本遺産の認知度

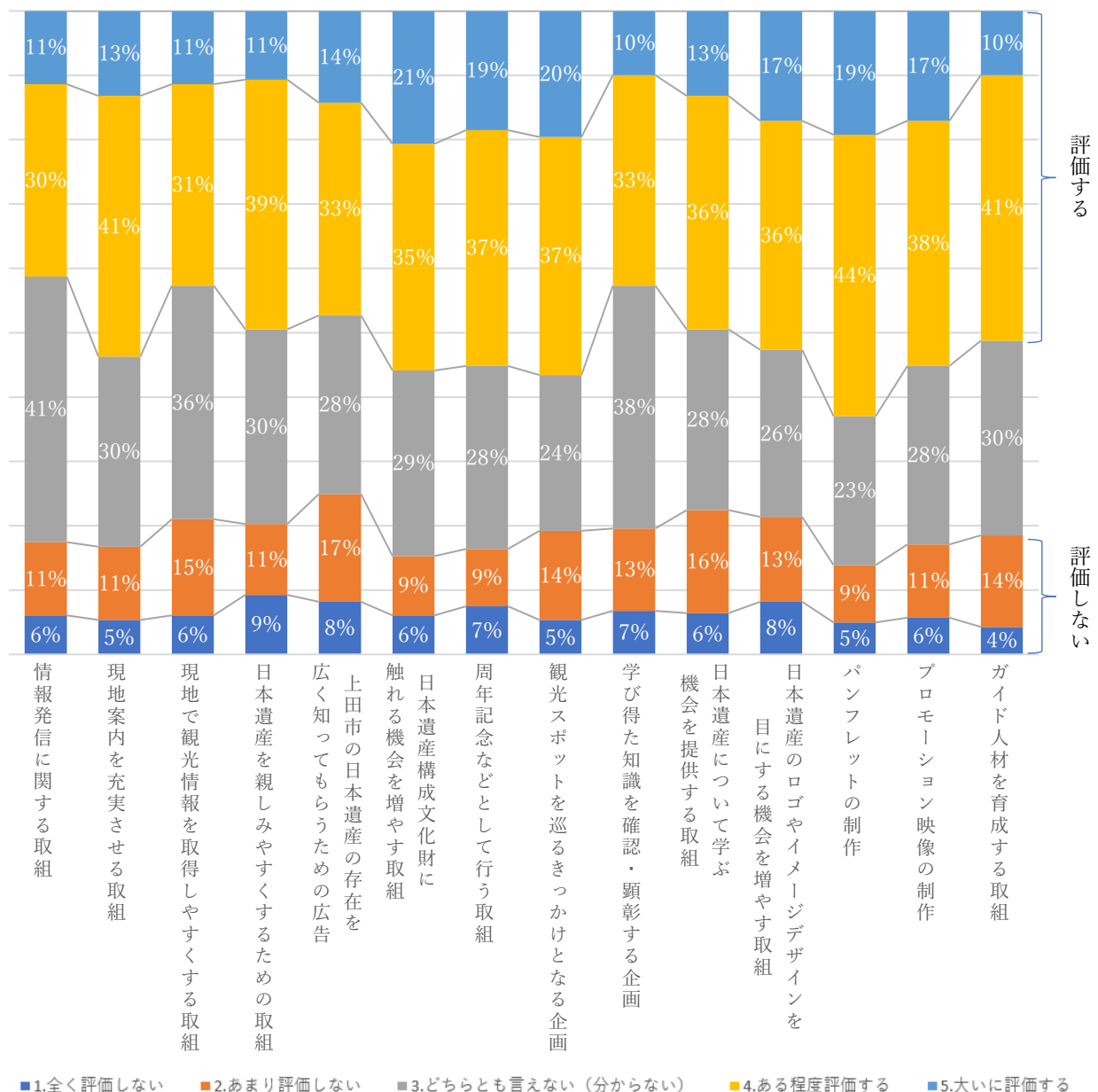
＜日本遺産の認知度＞



＜上田市の日本遺産の認知度＞



5 日本遺産活用推進事業の個別評価



6 特に評価したい取組(自由記述)

<まとめ>

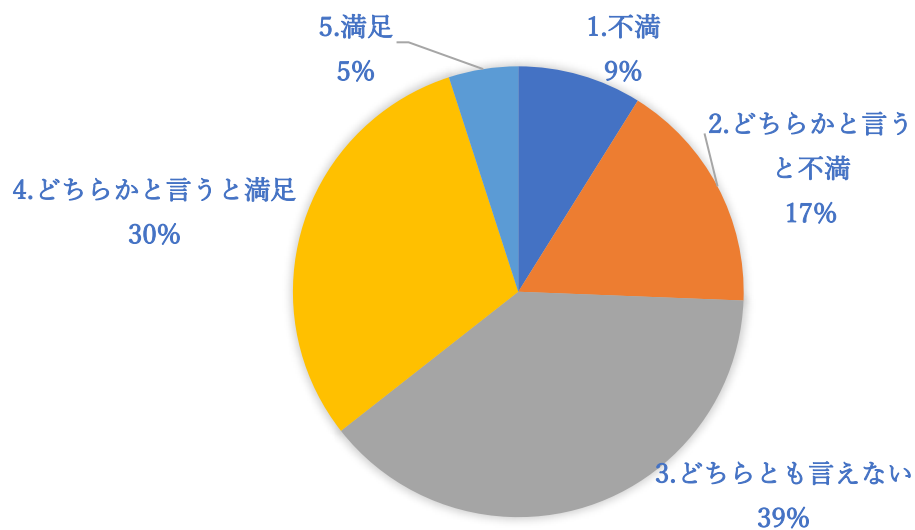
「信州上田 10 ストーリーズ」の出版、スタンプラリー、バス車両へのラッピング、信州上田・塩田平検定、パンフレット、仏像展などに評価が集まっています。

<全文>

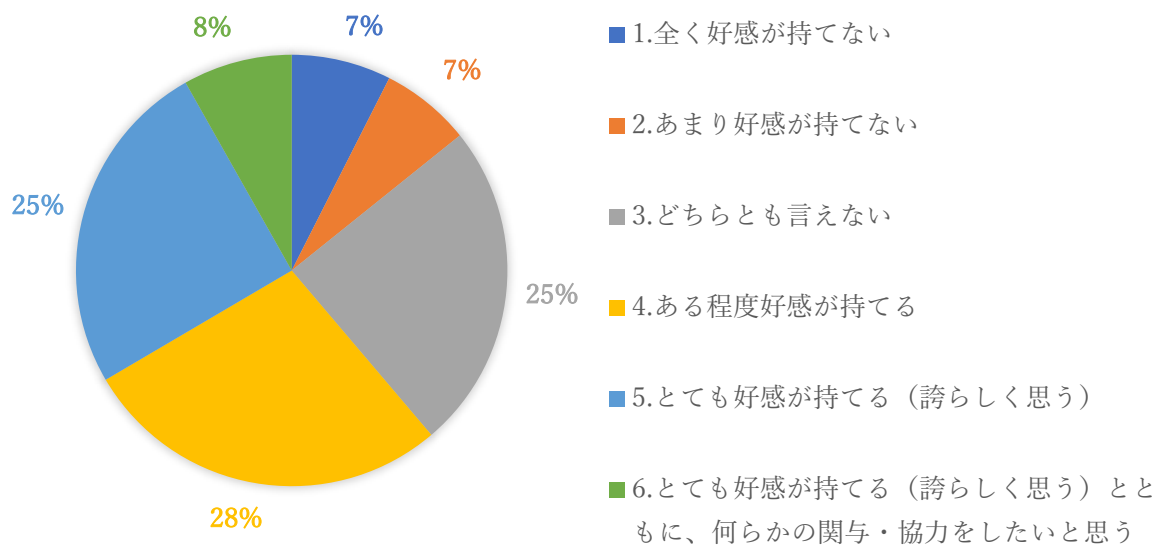
- 10 ストーリーの出版
- イメージデザインの幟旗を評価出来ない。もっと新しいデザインに。
- ガイドの育成、ガイド認定制度などとても良いと思う。
- シンポジウムの開催が効果的ではないか。NHK の番組で採り上げられるような仕掛けもして開催できれば最高。
- スタンプラリーの取り組みは足を運ぶきっかけとして良いと思う。ただし、スタンプやスタンプ帳がその時だけの物にならないような、素敵な物であってほしい。
- スタンプラリーやイベント開催は、観光客でも市民でも楽しめて良い取り組みだと思えます。
- スタンプラリーやタイアップ、キャラクターの擬人化などコラボレーションした取り組み
- バス車両へのラッピング
- ハッケン！上田の仏像はとてもよかった。ああいった企画に期待します。
- プロモーション映像は素晴らしいものでした。せっかくの素晴らしい映像を、もっとたくさんの人にってもらい取り組みが欲しいと思いました。
- マスメディアによる、宣伝が無い。やはりテレビ CM をやって欲しい。
- もっと頑張りましょう
- やっていることすべてについて、今回初めて知りました。参加人数も、ごく僅かで税金を使ってこの程度の事業効果でいいのでしょうか？
- よくあれだけ穴だらけの構成要素で日本遺産認定を通ったなど。
- 移住者として、日本遺産について学ぶ機会と情報発信が歴史のなか住んでいる（地域への愛着）実感が持てる。
- 一般市民や観光客の目に止まり興味を引かれるように可視化を積極的に進めるべきなのではないでしょうか。
- 塩田検定
- 塩田平検定、カルタの作製
- 何をやってるか伝わって来ないので評価できない。
- 鎌倉時代と室町時代の建築物及び寺院建築など、後世に残す事業はとても素晴らしいです。これからも情報発信の継続願います。
- 現地案内をする取り組み
- 取組みに入るのかわかりませんが、昨年文化会館で上演された演劇の舞台「縄文の龍」は、印象に残り、市内の文化財や歴史についての関心が高まったのではないかと思います。
- 小説集は良かった

- 上田の仏像
- 上田市はとにかくアピール下手というか、人任せというか、タイミングを逃しがち。今やっている日本遺産に関する取り組み（促進）ももっと前に効果的なタイミングがあったのに。
- 状況案内の端末や看板の設置は、役立つと思いました。
- 信州うえだ 10 ストーリーズの発刊が良かった。
- 全て
- 短編集面白かったです。どういう狙いで行った企画なのか存じ上げませんし効果のほどもわかりませんが個人的には大変興味深く拝見しました。
- 短編小説
- 短編小説集は買って読んだけど、上田が出てくるので楽しかった。
- 地元の人の意識が低い。移住者の方が、この魅力や素晴らしさを発信するが中々付いてきてくれない。
- 地元事業者や市民団体、学生さんなどの個別の取り組みは良い物が多いと感じますが、そもそもこのストーリー自体がこじつけと思わざるを得ない箇所が多くあり、それにつきあわされている感が拭えません。
- 町中にフラッグみたいなものが、飾られていたのは良かった。
- 縄文の龍という舞台に日本遺産が盛り込まれていて、神秘性の高い土地なんだという印象が深まった
- 日本遺産構成への取り組み
- 日本遺産の説明は曖昧だったり飛躍的だったり理解が難しかったですが、2021 年 9 月のシンポジウムの講演だけは冷静な内容で勉強になりました。
- 日本遺産紹介のパンフレットはよくできていると思います。写真も素晴らしい。
- 仏像展がとても良かったと思う。
- 仏像展などこの地ならの良さを再発見出来る企画は良かった。塩田検定は、地域を知る取り組みとして学ぶと更に深く学ぶきっかけにつながり有意義に思う。
- 文化遺産と触れ合う機会を増やす事が発展につながれば良いと思う
- 文化財に触れる機会を増やす取り組み。

7 日本遺産に関する施策・取組への満足度



8 上田市の日本遺産に対する好感度・シビックプライド



9 自由意見(自由記述)

(1) 前問において「ある程度好感が持てる」以上の好感度の方の回答

<まとめ>

好感度の高い回答者からは、上田市の日本遺産を活用して地域を盛り上げることが重要だという意見が多く見られます。市民の参加を促進し、広く認知されるようにすることや、観光客向けの取り組みだけでなく、市民向けの周知や教育機関での学習機会の提供、外国人観光客への対応や多言語化、SNSを活用した広報活動の強化が提案されています。一方で、期待するがゆえに地域資源を活かしきれていないとの批判もあり、継続的な取り組みが求めら

れています。

<全文>

- 全国の中で選ばれたことは、素晴らしいこと。でも大切なことは、「日本遺産」を活用して地域を盛り上げること。一緒に考え行動する人を増やすこと。そのためには、塩田方面だけでなく、中央（信濃国分寺）やその他の市内の日本遺産ポイントも、もっと取り上げて頂き、身近に「日本遺産」を感じられるようにすることも大事かと思います。
- あまり賑やかではない、ひっそりとたたずむ日本遺産を訪ねるという楽しみ方もあると思います。
- せっかく取り組んでいるのだから、継続して下さい。
- なかなか多くの市民が知ることや、参加協力する事は難しいものですが、関係者だけで盛り上がっているという様な感じもあり、そうすると協力や参加というよりも冷めてしまうところも否めないです。本当に多くの市民を巻き込んでの活動を願うのであれば、周知のところから手間をかけてみてはどうでしょうか。
- もっと知ってもらえるようにしたら良いと思います。例えば冬とか夏の特別拝観スタンプラリーとか。スタンプが溜まったら地元のお店屋さんで一息。飲み物やお菓子、アイスなどの無料サービス、商品の割引とかが受けられるとか。観光客だけでなく地元民も興味を持つと思います。車で行っても駐車に困ることが。観光シーズンだけでも1日乗り放題の巡回バスや電車などあればいいのにとします。
- レイラインが歴史的にどのような意味を持つかを知らない場合が多い。それが第一歩ではないのか。
- 外国人観光客も目立ってきたので、パンフレットや標識を増やしたら良いのではないのでしょうか。観光地の循環バスを 桜に時期など 観光客が増える時に設けてはいかがでしょうか？
- 看板や説明書きを多言語化するとインバウンドをもっと呼び込めるとします。PRが地味。もっと若い世代に突き刺さるアプローチが必要。広報の場を公共施設だけでなく、コンビニやスーパーなどにも広げ、もっと多くの人の目に触れる機会を増やすべき。
- 観光客向けの内容が多く、市民に浸透していると思えない。昔はよく耳にした「信州の鎌倉」の方が、シンプルでわかりやすいと思う。
- 観光客向けを重視するか、市民向けを重視するかによっても今後の取り組みが変わると思います。市民向けであれば周知を促進する取り組みが必要で、学校・施設・地元企業に上田市の日本遺産についての資料やイベント案内を配布したり、市と地元団体が協力して何か企画するとより多くの市民が関わりを持つようになるのではないのでしょうか。観光客向けであれば海外の方向けの案内看板の増設や SNS の発信をしていくのはいかがでしょうか。
- 現状維持であって素朴であってほしい。
- 個人的に前山寺に行っていますが、記載の事業などの表示などもなく、初めて事業をやっていることを知りました。デジタルコンテンツでしか、することができないような取り組みは、太陽と大地の聖地にはそぐわない！ 安直な取り組みにしか見えません。バスツアー

にも不満があります。なぜ別所線を使わなかったのでしょうか?地域で残さなければならぬ足であるとともに、聖地を線でつなぐ鉄道です。ブランディングが甘いとしきいいようがありません。もっと、歴史、上田、過去 現在 未来を考えた取り組みを望みます。

- 今、流行りのインバウンドを、アテにした活動は一切やめて、本当に理解できる日本人のみ、来て頂く活動が大事な事だとしっかりと、肝に銘じ金儲けの手段に、利用しようとし、ない誇りを持って、日本遺産を静かに、愛でる心を養って欲しい。金是要らない、心が欲しい。その位の事、市役所の職員なら、判らない訳が無いと思うのだが。しかし又、金儲けの片棒を担ぎ、日本遺産を思い切り汚し、響きを買って幾ばくかの金を受け取り、己の生き方を、怪しめることに、何ら恥じない公務員が、金儲けの為だけに、こんなアンケートを実施して、大義名分を演出しようと、頑張るわけか、世も末だなー。
- 私は歴史文化好きなので日本遺産についても上田市の日本遺産についても知っていたが、先日会社で話題に上がり、同僚は誰も、上田市の日本遺産について知らなかった。夏至や冬至には生島足島神社が県内ニュースの話題に上がり、ある程度認知度が上がってきているのかな、とも思うが、別所温泉や信濃国分寺はあまり関連性が無いように感じられて、勿体ないな、と思っている。
- 上田駅中の案内所にもっと「上田市の日本遺産」をアピールする物を設置してみてはどうでしょうか？
- 上田市に、市民税を納めて12年になります。上田市の日本遺産についてのこれまでの取り組みの状況がわからないので、課題、要望、提案などができないのですが、上田市で生まれ育った小学生、中学生、高校生、大学生に、日本遺産を活用し、地域活性化に繋げる活動を、取り組んでいく仕組みを育てていただきたい。
- 上田市民として日本遺産があることは嬉しく思いますが、上田市の日本遺産について詳しく知る機会は日常生活の中で無いのが残念です。
- 素晴らしいものがたくさんあるので、折に触れピーアールして欲しい。上田市に住んでいても知らないこと場所が多いので是非お願い致します。
- 知られていないことを残念に思います。学校などでは、周知されているのですが、一般の市民への周知がまだまだの様に思います。
- 日本遺産としての文化財が地元にあると関心が沸くが、該当する文化財がない地域ではどうしても関心が沸かないと思う。個人の興味の問題もあるのでしょうか。知っている人がいるかどうかより、その文化財が大切に守られているかどうかだと思う。たとえ知られていなくても細く永く大切にしていこうと考えている人たちに、力を注ぐことが大事なのではと思う。
- 日本遺産のストーリーを若い世代にも広まるように擬人化キャラクターの登場や別所温泉の温泉むすめや鉄道むすめとのコラボレーションなど進めて欲しい。駐車場や最寄り駅からの向かい方を分かりやすくまとめた場所があると良い。
- 日本遺産は、ストーリーがあってそれが認定されていると私は認識しています。しっかりとした歴史と、ストーリーを語れる、ガイドなどの人材と、さまざまな機械を通じた情報発信が必要だと思います。

- 認知度を高めるため、「サマーウォーズ」のようにアニメかゲームの舞台とするのはどうか。興味のきっかけとして魅力的なキャラクターやストーリーがあるとよい。
- レイラインの紹介動画の内容で、各々の遺産の紹介をもう少し詳しく紹介させて頂いたら良いのではないかなと思う。
 - 2) 年3回くらいバス（市のバスを含む）を用いレイラインを一日で廻るような企画をしてはどうだろうか。（市内の史跡研究者にも参加して頂き、各遺産を説明して頂きながら散策する。）
 - 3) レイライン遺産の写真を募集、展示を行う企画をしてはどうだろうか。
 - 4) 小、中、高、一般、に分けてレイラインの絵画を募集、優秀なものは市長賞、レイライン賞、等を設けサントミュージゼ等に展示し、広く市民に関心を持つようにする企画を桜の咲くころか、紅葉の頃に企画してはどうだろうか。
- たくさん、工夫されてる事はわかるが、もっと、こんなすごい歴史、文化が、あることを、学校とか、子供達が誇りを持ち、親子で、積極的に学べるツアーであったり、市民が、ハッとさせられるような、インパクトのある PR の仕方を工夫し、住みたいまち、誇りを持ち、上田は良い所、魅力ある、歴史のまちと、一目で、そのように、感じてもらえるように、して欲しいと思います。
- もっと市民に参加しやすい事業をふやす。
- 県外へもっと宣伝したら良いのにな、という気がします。
- 子供から老人まですべての年代の人が一緒に参加できるイベントを考え実施して戴きたい。
- 市民が知り、地元で愛情や誇りをもつことも大事ですが、市外県外から人を集めるために興味を持ってもらうことが大事ですね。ちなみに私は大切な遺産だと思っていますが、周りの知人はほとんど存在を知りませんでした。もっと市民参画型の活動を取り入れてもよいのかも。朗読サークルのようなものが市内にたくさんありますが絵本を提供してみてもは。また上田市単体でがんばるのではなく、全国日本遺産パッケージで商品化やイベント等のアピールをしたほうがインパクトはあるのでは。
- 所詮作られたストーリーと批判的な人もいるが、テレビ番組で取り上げていただいて誘客し、聖地巡礼のようなムーブメントにしていく。御守りやグッズを増やす。
- 上田市が日本遺産に登録されていることは、嬉しいし誇りに思いますが、全然知らない市民がまた多いと感じます。もっと広報などで、分かりやすくアピールしたらどうでしょうか。特に夏至や冬至などに合わせて。
- 上田地域をより世の中に知らしめるよう、みんなで努力いたしましょう！
- 他市より魅力のある財産があるのに上手く表に出せていない。SNS に特化してみてもは。そのためには、コラボレーション。レンタル自転車（変わったもの）、移動バス（変わったもの）があるといい。
- 地域住民はもとより外へのアピールや PR がハッキリしない。継続的なものが必用にも関わらずなされていない。予算を確保し工夫凝らしての取り組みが求められる。資源が沢山あるのにいかされていない 行政の姿勢が弱く残念。これではインバウンドも期待できない。
- 地元民への浸透の図り方が課題。やはり小学校時代の学習で知識や遠足で機会と正当な知

識に触れさせることが重要と思う。現在は様々が情報があふれ必要なものを各自が選択する時代になってしまっているので、自分も含めて他に興味関心のあるものがたくさんあればいくらPRしても響かない。特に関心どころが過多になっている大方の20歳代～50歳代は、それを知っても咀嚼して蓄積できる余力は非常に少ないと感じる。現状の情報発信は継続し、その他に幼稚園保育園、小学校児童、自治会役員、育成会、公民館関係者に対して機会（情報を普及）をつくり地道に底辺を拡大（認知度）して期を待つこと。ある程度の割合にいったときに活動が加速できそうに思う。アニメ「サマーウォーズ」、「千本桜」、大河ドラマ「真田三代」は、上田市の外に対する誘導口になる。情報過多にならないよう見る側の立場にたった誘導も検討してほしい。特に注意してほしいことは、行政の関与を中途半端に感させないことである（熱量がない、やらされ感満載）。

- 父親が上田出身でお墓と空家が市内の山田地区にあります。自分は都内在住で小さい頃は夏休み、冬休みに「おじいちゃん、おばあちゃんの家遊びに行く」という状況でした。今は年に1回か2回、墓参りに行くだけになりました。残念ながら都内では上田の日本遺産の認知度はほとんど無いとおもいます。もっと情報発信が必要ではないでしょうか。
- 保育園 小学校 中学校 高校 大学と市内の教育機関での日本遺産の教えをして戴けたらと思います。
- まだ市民に浸透しているかといえばまだまだのように思う。定着していくには根気よく積み重ねて継続が必要に思う。広報に特集記事や話題提供を毎回は難しいと思うが、数回に一度は出してほしい。また日本遺産の他市の状況も教えてほしい。今回の仏像展とても良かったと思う。上田にこんなに貴重な仏像があることに驚いた。このような企画は、もう少し盛り上げることがあっても良かったと思う。調査した先生の講演や、鎌倉などの今回展示にかかわった関係者のお話等など聞いてみたかったです。折角の機会だったので、小中学生は無料でも良かったのでは。更に上田には大学や短大、建築や土木を学ぶ高校もあるので招待や割引があっても良かったように思いました。
- 課題：
 - 1) ストーリーが難しい
 - ・信州の学海、未来への架け橋など説明が難しい。シンプルでわかりやすい言葉と説明がほしい。
 - 2) 文化財や史跡が盛り沢山で、エリアが広すぎ、的を絞れない
 - ・レイラインは夏至や冬至に限られる？、岳の幟や八日堂縁日も1年のうち1日しか開催されない。
 - ・上田市のツアーに参加したことがありますが、信濃国分寺→生島足島神社→前山寺→中禅寺→塩野神社→安楽寺→常楽寺→北向観音、と結局個々の文化財巡りになっており、「レイライン」「龍と生きるまち」という全体につながっていないように思える
- 今後も信州の鎌倉として、さらに日本遺産であることを積極的にアピールしてほしい。
- 自分ももっと勉強をして、上田を訪れる知人に説明できるようになりたいと思いました。
- 住民としては、特別何かが変わったとか、いまいち伝わってこない事もあり、評価が難し

い。しかし、今ある文化遺産は、大切に守って、整備なども参加型にしてもらい、少しでも保存に協力していきたいと思う。

- 他県などで知るきっかけになる企画など1県ごとに行って、認知イベント企画
- 地域を知るための学習の機会を増やしてほしい。
- 地元（塩田）の人達への認知度理解度を上げて行く事が大事だと思う。自治会の中でも話題になることがほとんど無い状態です。
- 当該地域から離れている地域では関心の程度があまり感じられません。のぼり旗はデザインも素敵で目につきますが、当該地域や市役所周辺ばかりが特に目につきます。上田市全地域にのぼり旗設置はできないもののでしょうか？
- 当該地域の住民で、日常的に遺産の良さに触れている者です。サイクリングのガイド経験もあります。日本遺産につき種々の取組みがなされ、おおむね結構と回答しました。今後ですが、幟や案内板がこれから劣化していきます。それらを目にするのは逆効果ですので、きちんとメンテナンスをするべきです。それは日本遺産認定以前からある案内板や案内標識についてもいえることです。遊歩道100選や、中部日本遊歩道の標識など、縦割り行政にならないよう、全体的に目を配ってほしいです。
- 特に塩田は全国的に見ても文化財が多く、温泉もあり、電車も走っており、大学も在り、こんなにすごい資源が沢山有るのに全く生かしきってないと思います。もったいない。

(2) 前問において「どちらとも言えない」とした方の回答

<まとめ>

好感度について中立的な回答者からは、判断材料を得られるよう、小中学校で学ぶ機会を提供したり、市民が参加できるような取組など、市民向けの情報発信を強化することを求める意見が多く見受けられます。

<全文>

- あまり関心がありません。
- しみんが誇りを持てるように考えてほしい。
- どれについても、興味のない人には気が付かれにくいと思います。興味のある人は、目について参加したり学習したりすると思いますが、知らないままの人も多いのでは、と思います。
- 塩田は上田市の中でも歴史ある地域だとなんとなく認識してる。でも地味でマイナーだから今までは一部の歴史好きな人の興味しか惹けなかった。私も今以上に塩田を知ろうとは思わない。まず、歴史が長すぎて何をメインにするのか見えないから疲れる。わかりやすいアイコンが欲しい。塩田北条時代か武田村上時代かそれ以外かちゃんと分けて誘導して欲しい。あと現在進行で規模が大きく持続的な塩田イベントがない。スタンプラリーなどは20年以上前からやってる。上田市だけでやらないで例えば鎌倉市や諏訪市、甲府市、また他の国分寺が置かれた市町村、ため池の多い市町村、米所、と一緒にフォーラムや祭りや面白いイベントを企画して持ち回りで開いてほしい。つまり過去に思いを馳せるだけでなく現在進行で新たな歴史を作るイベントが必要。今の取り組みが一過性で終わらないよ

うな仕掛けを作らないといけない。PV やグッズに力を入れるより現実の塩田が常に魅力的な状態にあるような仕掛けが必要。小手先ではない分頭を使いますが塩田のポテンシャルを新しいやり方で発掘ではなく作り上げてほしい。見かけより中身で勝負しよう！

- 塩田地区のことは塩田地区でやってほしいです。
- 観光客また特にインバウンドに対してワクワク感やドキドキする事が無いと飽きられるし、続くのが難しい。小学生、中学生、また大学生の意見を多に取り上げる。持続する上でも。
- 形のない物はどうしても漠然としがち、県外から移り住んで土地の歴史にあまり詳しくない者や若い世代にも分かりやすく、興味を持てる機会があると良いと思う。
- 御朱印やスタンプラリーでコンプリートしたら、記念品よりも宿泊や食事の割引の方が良いかと思います。
- 交通網や案内標示などをさらに整備し、日本遺産がより魅力的に感じられるようにしていくとよいと思います。
- 国分寺からしなの鉄道で上田駅へ、上田駅から別所線で下之郷や別所温泉へ行く公共交通の便数が少ない。待ち時間に面白いことが無い。
- 実際に住んでいる住民が認知することが大切だと思う。
- 上田市の寺社仏閣や伝統的な行事を分かりやすく紹介することは、観光面でも文化の継承といった面でも重要なことだと思います。しかし、「レイライン」という言葉を塩田平の景観や位置関係の理由として使っている事が、紹介したい文化や歴史とはかけ離れた印象を与えてしまっているように感じます。SNS 上でもオカルト的な用語を使う事への批判的な意見が投稿され、観光を重視し文化面がおざなりになっている等の反応が寄せられています。古くからあった太陽などの自然に対する信仰が、近年の概念であるレイラインに上書きされているように感じられて残念です。
- 諏訪湖の御神渡りのような存在になってほしいです。
- 積極的に市民へ PR して、日本遺産の価値を高めてもらいたい。
- 前述した通り、今回の意識調査もタイミング（定期的って何のため？？？）も日本遺産に関する市民の関心が前回より高かったら自分たちの活動を褒めて、低かったら反省するため？結局、職員の自分たちファースト。だから、市民や県民がついていけないのでは？自分が何をしたいかという視点でなく、自分が市民だったら何をしてほしいかの市民ファーストの視点で動かないと！私たちが払っている税金から給料をもらっている自覚を 0 から 1 にする働きをしてください。いいかげん。
- 全国的に、新たにストーリー化された日本遺産自体が、大きな誘客に向けての観光資源になりにくい。特に上田市のように多様な観光資源がある場合は、地域や関係する人によって温度差があり、レイラインだけが大きな資源としては存在し得ない。また、レイラインは各地に存在もしている。そこに、予算や尽力を投下していくことに限界があるように思う。日本遺産の認定が継続されなくても良いように感じる。
- 他県に向けた PR を増やして欲しい。
- 地元があまり頑張っていない印象を受ける。日本遺産のある地元がもっと盛り上げようと

していないと、他の地域の住民も協力できないのでは。

- 都市部での、観光アピール活動をもっと積極的におこなってもいいと思う。物産展の参加や都市部の中核駅などでの、お土産品やお酒、生鮮食品の販売、歴史に関するパンフレットなど。歴史に詳しい方を呼んでの講演会もいいと思う。
- 都市部での観光アピールキャンペーン、中核駅での物産展の参加やお土産品、お酒の販売、試飲、観光パンフレットの配布など、もっと積極的におこなってもいいと思う。歴史に詳しい方を講師に講演会をおこなうのもいいと思う。
- 認知度が進んでいないと感じます。マスメディアや SNS での発信力が弱い。大河ドラマ真田丸の時と同じような盛り上げにもっていかないとこのままではポシャってしまうでしょう。インバウンドの取り組みに期待しますが、動きが遅いです。円安から円高に移行して、インバウンド誘客が遅きに失することのないように、お願いいたします。
- 認定後の行政や地元の取り組みや全体の意識がだんだん低下しているように思います。定期的にイベント開催や関係する自治会や団体などの学習会などを行うブラッシュアップが必要と感じます。小中学校の授業でもカリキュラムとして取り入れ、地元の史跡や歴史に関心を持つ取り組みも検討する価値があると考えます。
- 別所線の列車ラッピングはすごく良い、観光客にも地元の人にもアピールできる。この地が丸ごと宝物という意識を小学生から長野大学の皆さんまで楽しめるイベントがあればいいなあと思います。塩田地域で企画があるといい。長野大学の学生さんに期待してます。

(3) 前問において「あまり好感が持てない」以下の好感度の方の回答

<まとめ>

好感が持てないと考えている回答者からは、市の施策に対する批判が多く見られます。特に「レイライン」という単語の使用が地域の魅力を十分に伝えられていないとの指摘や、日本遺産のストーリーがこじつけや後付けに感じられるとの批判が目立ちます。また、認知活動や宣伝活動の不足、環境整備の不十分さが指摘されており、市民に誇りを持ってもらうための取り組みが求められています。

<全文>

- 「レイライン」という単語を用いることで、塩田地域本来の魅力が十分に伝わらなくなっているように感じます。実際、質問事項内の文章にも『観光誘客に効果的なように「レイライン」というキーワードが印象的なタイトルですが』とあるように、この表現が強調されすぎている印象を受けます。もし「レイライン」という言葉を用いなければ日本遺産として成り立たないのであれば、むしろ日本遺産の認定自体を再考すべきではないかと考えています。
- よくわからないストーリーをこじつけて日本遺産にしているように見えてやめてほしい。これにお金を使うなら、もっと他のことに使ってほしい。こどもたちの給食費無償化など。
- レイラインに関しては裏付けが弱くツッコミどころが多いので、市民として自信を持って説明するのは不可能です。学術的にはいい加減な風説を流すのは止めて欲しい所ですが、観光客に上田を知って貰うキッカケとしては都合が良いので、あまり核心には触れずにふ

わっとした観光コースの紹介に留めておくのが良いかと思います。

- 観光の一つの切り口としてのストーリーとしては、面白いと思う。真田 10 勇士と同質のもの。ただ、文化的・歴史的に価値があるという前提で市を挙げて取り組むような事業ではない。
- 私は「日本遺産」そのものに疑問をもっています。名所旧跡や伝説などをひとつの「ストーリー」に再構成し、それを行政主体でアピールする活動自体に問題点があると思います。ですので、担当した関係者の個々の成果について批判するわけではありません。私は移住者なのですが、以前から上田のもつ歴史・文化に関心がありました。戦国時代だけではなく、蚕糸業で蓄えた財によって教育・文化活動が充実した大正期もとても魅力的です。はたからみれば「信州の鎌倉」「真田」「蚕糸業」など、他地域が羨むような贅沢な文化資源をこの地域はもっており、「上田がなぜ日本遺産？」というのが私の印象です。地域に伝わる「語り」や「伝説」は大切な歴史・文化であり、宝物です。地元の人々が「光が一直線になる時期」を神聖なものとして語り継ぐだけであれば、まったく問題はありません。しかし、行政主体でその語りを体系化し、国の助成を得てアピールするとなると話は別です。「ナラティブ」と「史実」は往々にして混ざりがちですから、レイラインというスピリチュアルな要素をもつ「語り」を公認することは、上田の歴史・文化の継承と保全にとって有益とは思えません。
- 上田市日本遺産「レイラインがつなぐ『太陽と大地の聖地』」の根本的な見直し、または適切な対応を強く求めます。地域住民の間で共有されてきた「レイライン (RayLine)」は、太陽の運行と生島足島神社の鳥居の関係性を指します。しかし、日本遺産認定に際し、遺跡が一直線に並ぶ「レイライン (LeyLine)」が採用され、地域の伝承との齟齬が生じています。日本遺産は地域の歴史や伝承を尊重し、複数の文化財をストーリーとして伝えるべきものです。しかし、上田の日本遺産では、本来無関係な文化遺産が結びつけられたことで、地域住民の認識と大きな乖離が生まれています。プロモーション映像においても「レイライン (LeyLine)」を「レイライン (RayLine)」と誤解を招く構成・表現がなされており、地域文化と文化遺産への配慮を欠いていると感じざるを得ません。長年大切にされてきた文化と伝承を尊重し、真に誇れる日本遺産とするため、「レイライン (LeyLine)」を用いた現在のストーリーを見直し、地域の伝承に即した形に修正するよう強く要望します。
- 世界遺産は、皆知っていると思うが、日本遺産については、殆ど知らないし「へーエそうなの」位で興味がないように感じている。なるべく日本遺産と言う文言を使わず、観光等を進めて欲しいし、目指すなら世界遺産に登録を目指して欲しい、目指すだけでも話題性が高まると感じている。
- 日本遺産というのは根拠の薄いオカルトじみたもので良いのかと疑問に思う。レイラインとやらが、意図して作られたかの実証がされているのか、古文書に載っているのか？現代人のこじつけであるならば遺産とはいえない。
- 日本遺産とは何か。上田市の日本遺産は何なのか。認知活動や宣伝活動がほとんど見えていない。市民に知ってもらおう活動が見られないと思う。
- 日本遺産のストーリーは、このように考えると面白いという観光のためのストーリーであ

って、事実ではないということをはっきり示してほしい。学校に本を贈るなどして、あたかも事実のように教える活動はやめてほしい。

- 日本遺産のストーリーを子供達に教えるのは、やめてほしいです。曖昧な言葉や図を使って、無理にこじつけているようにしか見えません。「レイライン」はファンタジーやオカルトに関係するもので、否定されたり、馬鹿にされたりもします。面白そうだから、と軽く考えて、背景を知らない人に一面的に教えることは、しないでほしいです。
- こじつけの感じがかり馴染みを感じられない。もっと歴史のある資産を観光に生かして欲しい。
- そもそも日本遺産の意義が理解できないので、上田市がなぜ認定されたのかも分からない。
- もっと本腰入れましょうね。何となくやイヤイヤでなくね。
- 小学生の頃「塩田平は信州の鎌倉と言われておりお寺や神社が多い。また瀬戸内と上田は雨が日本一少ない、だからため池が多いんだよ。」ということを先生に教えてもらったが、それ以来こういう話を全く聞いた事がない。市の広報にも今までほとんど出ていないと思います。「レイライン」という訳のわからない言葉が出てきたり、「太陽と大地の聖地」「龍と生きるまち」という全く馴染みのないタイトルは上田市をイメージしないと思います。
- 世界遺産と比べて、日本遺産はインパクトが薄い。これを盛り上げていくのは大変なことだと感じている。みんなが忘れないうちに、短期集中型で精力的に頑張してほしい。
- 日本遺産（塩田地区）に通じる県道及び市道があまりにも雑草が生い茂り、とても心地よい環境の中の日本遺産とは思えません。上田市に来市した観光客のためにも市民のためにももう少し環境整備にお金を出しても良いのでは、特にシルバー人材の活用しても良いのではないのでしょうか。
- 日本遺産そのものの認知度が高いわけではないと個人的には感じており、日本遺産がなんなのかよくわからないまま日本遺産の認定ストーリーがどうのこうの説明があってもイメージ良さが伝わってこない。
- 日本遺産を含む地域環境の整備を、ぜひ広報活動と併せて行ってください。日本遺産の周囲が、耕作放棄地だらけで雑草が生い茂っているようでは、県外から来た観光客も興醒めです。整備の行き届いた農村風景は、観光価値を高めると思います。目立つ活動だけでなく、地道な活動にもきちんと予算・人員をさいて頂きたい、お願いいたします。
- 日本遺産事態が知られておらず、上田市のレイラインも後付で考えられた物語で誇りが持てない